

○入学支度金支給事業 54

【目的】

新潟県教育委員会が指定する地域に居住する生徒の保護者に対して入学支度金を支給し、保護者の経費負担の軽減と教育の機会均等を図る。

【4年度目標】

適切な時期に入学支度金を支給し、保護者の負担軽減と教育の機会均等を図る。

【実施内容】

対象生徒の保護者に入学支度金を支給する。(1人当たり18千円)

| | | |
|------------------|--------------|-------|
| 歳出科目 (P304～P305) | 10 款 3 項 2 目 | 教育振興費 |
|------------------|--------------|-------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|----------|--------|--------|--------|
| 中学校通学援助費 | 24,130 | 26,292 | △2,162 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|------|--------|------------|--------|
| 一般財源 | 24,130 | 役務費 | 16,730 |
| | | 負担金補助及び交付金 | 7,400 |

【目的】

遠距離通学をする生徒や特別な支援が必要な生徒の通学費を支援し、保護者の経済的負担の軽減を図る。

【4年度目標】

各学校と連携し、実態に応じた通学費の支援を行う。また、制度周知及び対象者の把握を確実にを行うことで、保護者の経済的負担の軽減を図る。

【実施内容】

(1) 片道 5km 以上の遠距離通学をする生徒（スクールバス利用者を除く。）の通学費を支援する。なお、片道 5km 未満であっても、山間地で起伏が著しいなど、通学における負担の大きい地域からの通学に対しては特例を設け支援する。また、教育的配慮が理由で校区外通学する生徒及び通級指導教室に通級する生徒についても、片道 5km 以上の遠距離通学する場合は支援を行う。

① 支援の内容

| 通学手段・優先順位 | 内容 |
|-----------|------------------------------------|
| 1 自転車 | 往復通学距離(km)×5円×1か月の通学日数(日)×通学月数(月) |
| 2 自家用車 | 往復通学距離(km)×10円×1か月の通学日数(日)×通学月数(月) |
| 3 公共交通機関 | 定期券の購入金額の全額 |

② 令和4年度補助対象者数の見込み

| 区分 | 補助対象生徒(人) | 対象者在籍校(校) | 補助額 |
|--------|-----------|-----------|-------|
| 合併前上越市 | 173 | 8 | 7,476 |
| 安塚区 | 1 | 1 | 3 |
| 浦川原区 | 44 | 1 | 1,087 |
| 牧区 | 2 | 1 | 236 |
| 柿崎区 | 2 | 1 | 3 |
| 大潟区 | 41 | 1 | 406 |
| 頸城区 | 226 | 1 | 7,227 |
| 吉川区 | 54 | 1 | 4,462 |
| 中郷区 | 18 | 1 | 133 |
| 板倉区 | 3 | 1 | 2 |
| 三和区 | 1 | 1 | 2 |
| 名立区 | 2 | 1 | 112 |

| 区 分 | 補助対象生徒（人） | 対象者在籍校（校） | 補助額 |
|-----------|-----------|-----------|--------|
| 転 入 者 | 0 | - | 0 |
| 校 区 外 通 学 | 2 | - | 83 |
| 合 計 | 569 | 19 | 21,232 |

- (2) 特別支援学級の生徒及び特別支援学校に在籍する生徒について、通学負担を勘案し、通学距離にかかわらず支援を行う。なお、特別支援学校に在籍する生徒については、県の通学援助費を控除した額を支給する。

① 支援の内容

| 通学手段・優先順位 | | 内容 |
|-----------|--------|------------------------------------|
| 1 | 自家用車 | 往復通学距離(km)×15円×1か月の通学日数(日)×通学月数(月) |
| 2 | 公共交通機関 | 定期券の購入金額の全額 |

② 令和4年度補助対象者数の見込み

- ・特別支援学級の補助対象者 24人（457円）
- ・特別支援学校の補助対象者 48人（2,441千円）

| | | |
|-----------------|---------|-------|
| 歳出科目（P304～P307） | 10款3項2目 | 教育振興費 |
|-----------------|---------|-------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|------------------|--------|--------|---------|
| 中学校教育用コンピュータ設置事業 | 67,659 | 89,847 | △22,188 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|-------|--------|------------|--------|
| 国庫支出金 | 4,134 | 需用費 | 1,991 |
| 一般財源 | 63,525 | 備品購入費 | 2,951 |
| | | 委託料 | 18,257 |
| | | 使用料及び賃借料 | 39,840 |
| | | 負担金補助及び交付金 | 4,620 |

【目的】

「個別最適な学び」、「協働的な学び」の実現に向け、情報機器を有効活用できるように、教育用コンピュータとネットワーク環境を整備する。

【4年度目標】

- ・GIGAスクール構想により整備されたICT環境を有効活用し、一人一人の主体的な学びを支え、課題や目的に応じて適切に情報活用ができる能力を育成する。
- ・教職員を対象とした研修会や出前講座を実施し、情報化社会における危機回避方法の知識や理解を深め、生徒の情報モラルの向上を図るとともに、保護者及び教職員への適切な情報提供と指導を継続して実施する。

【実施内容】

- ・GIGAスクール構想により導入した「端末」、「校内ネットワーク」、「教育クラウド」を利用し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びを実現する。
- ・1人1台端末環境を使用した教育活動を円滑に実施するため、端末故障時や接続不良などの使用時の不具合への対応、端末設定に関わる問合せなどの諸課題に対して迅速に対応できるよう、市内ICT事業者とGIGAスクール構想に関わる運用支援契約を結び、ヘルプデスクの設置や学習情報指導員と連携した支援体制を整える。
- ・導入から一定期間経過し、性能が低下した大型提示装置を順次更新し、1人1台端末を有効活用するための環境整備を継続する。
- ・ICTを活用した授業改善やプログラミング教育、生徒の情報モラル向上のため、指導方法等の研修会や学校の要請による保護者及び教職員を対象にした出前講座を実施する。

※ 上記の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

| 本年度 | | | 前年度 | | | 比較 |
|-----------------|--------|---------|--------------|--------|--------|--------|
| 令和3年度3月補正予算額(※) | 当初予算額 | 合計 | 令和2年度3月補正予算額 | 当初予算額 | 合計 | |
| 42,667 | 67,659 | 110,326 | 0 | 89,847 | 89,847 | 20,479 |

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

| | | |
|-------------------|--------------|-------|
| 歳出科目（P 306～P 307） | 10 款 3 項 2 目 | 教育振興費 |
|-------------------|--------------|-------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|-------------|---------|---------|--------|
| 中学校学習指導支援事業 | 182,720 | 160,432 | 22,288 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|-------|---------|----------|---------|
| 国庫支出金 | 1,622 | 報酬 | 104,823 |
| 県支出金 | 748 | 給料 | 12,973 |
| 一般財源 | 180,350 | 旅費 | 5,352 |
| | | 需用費 | 140 |
| | | 使用料及び賃借料 | 80 |

特別な支援が必要な生徒や指導上の問題を抱える生徒に対し、個に応じた指導を行うため、また、読書環境整備、部活動運営の円滑化等を図るための人的な環境を整える。

○教育補助員の配置 90,552

【目的】

通常の学級に在籍する特別な支援が必要な生徒に対して、特性に応じた支援を行うことにより、生徒の生活面及び学習面の充実を図り、健やかな育ちを支援する。

【4年度目標】

学級担任及び教科担任の補助者として教育補助員を配置し、学校生活や学習の更なる充実を図る。

【実施内容】

- ・支援が必要な中学校に 34 人を配置し、通常の学級で特別な支援を必要とする生徒へのきめ細やかな指導支援を行う。
- ・適切な支援ができるよう研修会を年 2 回開催し、支援の仕方や各校の実践事例の紹介、情報交換等を行い個々の専門性や実践力の向上を図る。

○介護員の配置 43,454

【目的】

特別支援学級に在籍する生徒に対して、個々の特性に応じた指導を補助することにより、生活面や学習面の充実を図り、健やかな育ちを支援する。

【4年度目標】

身の世話や移動の介助、安全面への配慮等を行う介護員を配置し、学校生活や学習の充実を図る。

【実施内容】

- ・支援が必要な中学校に 17 人の介護員と 1 人の学校看護師を配置し、特別支援学級に在籍する生徒への援助を行う。
- ・一人一人に応じた適切な支援が行えるよう研修会を年 2 回開催し、専門性の向上を図る。

○学校司書の配置 18,464

【目的】

図書館教育担当者と学校司書が連携し、学校図書館の環境整備や学校図書館を活用した教育活動の支援を行う。

【4年度目標】

各校に月2回訪問できるように学校司書を配置し、図書館の環境整備や図書館利用に関わる児童生徒や教員への補助ができるようにする。

【実施内容】

- ・各学校の図書ボランティア等の活用を図るとともに、全小中学校に月2回は訪問できるよう、8人の学校司書を配置する。(1人9校程度担当)
- ・学校司書の研修会(年9回)を通して、資質・力量を高めるとともに、必要に応じてグループワークによる図書館業務の相互支援を行う。

○生徒指導支援員の配置 20,198

【目的】

学校生活上の問題により学級集団への適応が困難で個別の支援を必要としている生徒に対し、安心できる落ち着いた環境を提供し、学級集団への復帰を支援する。

【4年度目標】

不登校や学習不適應など学校生活上の諸問題を抱える生徒に対し、個別に学習支援や教育相談を行うことにより、段階的に学校生活に適應できるよう支援する。

【実施内容】

配置が必要な中学校6校に各1人を配置し、校内適應指導学級の運営を行うことにより、学校には登校できるが教室に入れない生徒の居場所をつくり、段階的に教室復帰ができるよう学習支援や教育相談を実施する。

○LD(学習障害)指導員の配置 7,617

【目的】

LD(学習障害)のある生徒へのきめ細かな指導を行うため、中学校にLD通級指導教室を設置し、学習障害に関する専門的な知識と経験を持った指導員を配置することにより、生徒の特性に応じた指導の場を確保する。

【4年度目標】

LD通級指導教室設置校において、20人程度の生徒が週2~3時間の指導を受けられるようにし、学習意欲の向上や学習面での困難さの改善を図る。

【実施内容】

- ・LDの障害特性に合わせた多様な学びの場の充実を図るため、4校のLD通級指導教室に、LD指導員(4時間勤務)4人を配置する。
- ・学習障害のある生徒が自校で指導が受けられるよう、地域・保護者・職員への理解啓発を図り、校内の指導体制を構築する。
- ・適切な指導ができるよう研修会や情報交換会を開催し、LD指導員同士で授業参観や指導実践、教材の紹介、情報交換等を年4回行い、指導方法の知識や技能を高め、専門性の向上を図る。

○部活動指導員の配置 2,435

【目的】

部活動指導員を配置し、部活動運営の円滑化と生徒の技術力や活動意識の向上に資するとともに、教員の精神的な負担軽減や多忙化解消に寄与する。

【4年度目標】

休日等に単独で練習を指導し、かつ、大会の引率や監督も担当できる部活動指導員を配置し、部活動運営の円滑化と生徒の技術力や活動意識の向上に取り組むとともに、教員の精神的な負担軽減や多忙化解消を図る。

【実施内容】

- ・顧問が未経験の種目を担当するなど、指導体制に課題がある部活で、かつ、部活動指導員となる人材を確保している8校に合計10人を配置する。
- ・任用に当たっては、教員免許状を有する者若しくは教員を退職した者、日本体育協会公認スポーツ指導者制度の競技別指導者資格を有する者又は外部指導者の経験を原則一定期間（3年程度）有し、校長の推薦により教育長が許可した者のいずれかとし、市の部活動ガイドラインを遵守した指導を行う。

| | | |
|-----------------|---------|-------|
| 歳出科目（P306～P307） | 10款3項2目 | 教育振興費 |
|-----------------|---------|-------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|-------------------|-------|-------|----|
| 中学校夢・志チャレンジスクール事業 | 8,178 | 8,080 | 98 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|------|-------|------------|-------|
| 一般財源 | 8,178 | 負担金補助及び交付金 | 8,178 |

【目的】

全中学校を対象に、「夢・志ある人づくり活動」に必要な経費等への支援を行い、地域とともに特色ある教育活動に取り組む。

【4年度目標】

学校運営協議会での熟議を通じて、保護者や地域とともに目指す子どもの姿を共有し、その実現に向け、創意と工夫を凝らした「夢・志ある人づくり活動」に取り組む学校に対し、財政支援及び指導を行い、教育活動の活性化を図る。

【実施内容】

- ・各中学校が、保護者や地域とともに目指す子どもの姿を実現するために取り組む「夢・志ある人づくり活動」に対して活動費を支援する。
- ・中学校区で目指す子ども像を共有し、地域に根差した特色ある教育活動を推進するため、学校運営協議会委員の参画によるカリキュラムの作成・改善を進める。

※交付金の対象となる主な活動内容

- ① 地域貢献活動、地域行事への参加・参画、地域の福祉や介護ボランティア体験活動
- ② 地域の自然と関わり、特色を捉えたり調査、保全、提案等を目指したりする活動
- ③ 地域の伝統や文化を学んだり、その継承や文化創造等を目指したりする活動
- ④ 郷土の偉人・先人について、調査、体験等を行ったり、伝え広めたりする活動
- ⑤ 夢・志を持って地域で活躍・活動している人の生き方に触れる活動

(費目別の主な用途)

| 交付費目 | 金額 | 主な用途等 |
|------|-------|--|
| 報償費 | 1,936 | ○キャリア教育講演会講師謝金 ○活躍する地域の人、先輩による講演会講師謝金 ○地域の伝統や文化に関わる学習会講師謝金 |
| 旅費 | 85 | ○体験活動、学習会等講師旅費 |
| 需用費 | 1,640 | ○地域探求活動学習用消耗品費 ○地域貢献活動用消耗品費 ○環境保全活動用消耗品費 |

| 交付費目 | 金額 | 主な用途等 |
|--------------|-------|---|
| 役員費 | 175 | ○ボランティア保険料 ○体験活動、学習会等講師連絡等郵便料 |
| 委託料 | 45 | ○特色ある体験活動（鮭捕獲・加工等）委託料 ○地域行事参加に伴う学習成果物運搬料 |
| 使用料及び 賃借料 | 146 | ○福祉体験活動器具借用料 ○成果発表会会場借用料 |
| 原材料費 | 43 | ○地域の伝統や文化に関わる体験活動材料費 |
| バス利用料 | 4,083 | ○校外学習（施設見学、体験等）送迎用 |
| 事務費 | 25 | |
| 計 | 8,178 | |

| | |
|-----|-------|
| 提出課 | 教育総務課 |
|-----|-------|

| | | |
|------------------|---------|-------|
| 歳出科目 (P306～P307) | 10款3項3目 | 学校建設費 |
|------------------|---------|-------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|----------|--------|--------|--------|
| 中学校市単独事業 | 49,071 | 31,694 | 17,377 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|------|--------|----------|--------|
| 繰入金 | 524 | 使用料及び賃借料 | 1,983 |
| 市債 | 3,600 | 工事請負費 | 47,088 |
| 一般財源 | 44,947 | | |

【目的】

学習形態の多様化への対応や、経年劣化した施設及び設備の改善を図り、生徒が安全・安心に学べる環境を確保する。

【4年度目標】

授業に支障を来さないよう計画的に工事を進め、確実に履行する。

【実施内容】

| 内容 | 学校名 |
|-------------------|----------------------|
| 普通教室エアコン設置工事 (5校) | 城北中、城東中、八千浦中、春日中、雄志中 |
| 屋上防水工事 | 城北中 |
| 雨漏り改修工事 | 板倉中 |
| 既存空調設備更新工事 (2校) | 八千浦中、柿崎中 |
| 敷地内通路舗装改修工事 | 浦川原中 |
| 照明器具入替工事 | 城西中 |
| 自転車小屋改修工事 (2校) | 城西中、雄志中 |
| 防球ネット支柱更新工事 | 三和中 |
| 体育館非常口等改修工事 | 直江津中 |
| 床シート張替工事 | 名立中 |
| 用務員室エアコン設置工事 (2校) | 雄志中、板倉中 |
| 校庭整備工事 | 中郷中 |
| 給食室エアコン設置工事 | 安塚中 |
| プレハブ校舎借上料 | 春日中 |

| | | |
|--------------------|--------------|-------|
| 歳出科目 (P 306～P 307) | 10 款 3 項 3 目 | 学校建設費 |
|--------------------|--------------|-------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|------------|---------|-----|---------|
| 中学校大規模改造事業 | 172,495 | 528 | 171,967 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|-------|---------|----------|---------|
| 国庫支出金 | 9,205 | 委託料 | 649 |
| 市債 | 121,900 | 使用料及び賃借料 | 157 |
| 一般財源 | 41,390 | 工事請負費 | 171,689 |

【目的】

経年劣化した施設及び設備の大規模改修を行い、耐久性及び機能性の向上を図り、学校教育の円滑な実施に資する。

【4年度目標】

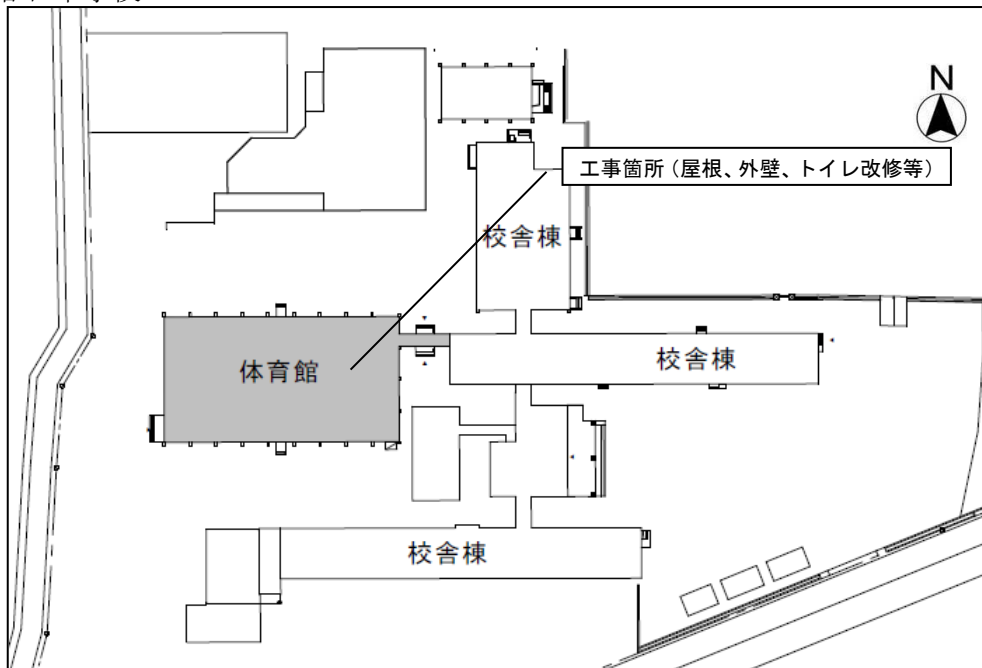
春日中学校及び柿崎中学校の大規模改造工事を完了する。

【実施内容】

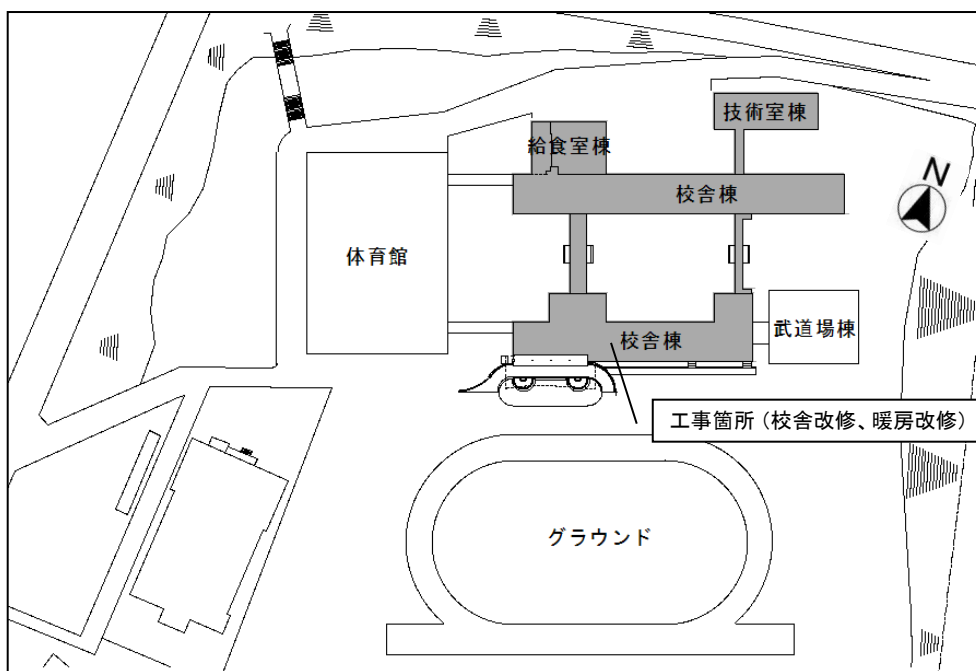
| 学校名 | 建物区分 | 面積 (㎡) | 建築年 | 予算額 | | 主な工事内容 |
|-------|------|-----------|---------------|--------|---------|------------------|
| 春日中学校 | 屋 体 | 1,103 | 昭和 58 年 | 工事請負費等 | 102,678 | 屋根、外壁、 トイレ改修等 |
| 柿崎中学校 | 校 舎 | 5,328 | 昭和 46 年 ほか | 工事請負費等 | 69,817 | 校舎改修、 暖房改修 |
| 合 計 | | | | | 172,495 | |

中学校大規模改造工事位置図

・春日中学校



・柿崎中学校



※前頁に記載の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。
 ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

| 令和4年度 | | | 令和3年度 | | | 比較 |
|-----------------------|---------|---------|-----------------------|-------|---------|---------|
| 令和3年度 補正予算額 (※) | 当初予算額 | 合計 | 令和2年度 補正予算額 (※) | 当初予算額 | 合計 | |
| 355,814 | 172,495 | 528,309 | 191,380 | 528 | 191,908 | 336,401 |

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

| | |
|-----|-------|
| 提出課 | 学校教育課 |
|-----|-------|

| | | |
|--------------------|--------------|------|
| 歳出科目 (P 308～P 309) | 10 款 4 項 1 目 | 幼稚園費 |
|--------------------|--------------|------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|----------|-----|-----|-----|
| 幼稚園一般教材費 | 342 | 410 | △68 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|------|-----|------|-----|
| 一般財源 | 342 | 需用費 | 342 |

【目的】

市立高田幼稚園において、園児の学習に必要な教材消耗品及び教材備品を購入し、教育環境の充実を図る。

【4年度目標】

幼稚園の要望や必要性を踏まえた教材の整備を行うことで、園児がより効果的に学習できる環境を整備する。

【実施内容】

(経費の内訳)

| 項目 | 金額 | 内容 |
|------|-----|--------------|
| 消耗品費 | 342 | クレヨン、絵本、粘土ほか |
| 合計 | 342 | |

| | |
|-----|-------|
| 提出課 | 教育総務課 |
|-----|-------|

| | | |
|--------------------|--------------|------|
| 歳出科目 (P 308～P 309) | 10 款 4 項 1 目 | 幼稚園費 |
|--------------------|--------------|------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|----------|-------|-------|------|
| 幼稚園施設管理費 | 5,543 | 6,433 | △890 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|------|-------|----------|-------|
| 一般財源 | 5,543 | 需用費 | 1,990 |
| | | 役務費 | 61 |
| | | 委託料 | 3,181 |
| | | 使用料及び賃借料 | 289 |
| | | 原材料費 | 22 |

【目的】

高田幼稚園において、適切な施設の維持管理を行い、園児が安全で安心して幼稚園生活を送ることができるよう、教育環境を維持する。

【実施内容】

(経費の内訳)

| 項目 | 金額 | 内訳 |
|-------|-------|----------|
| 需用費 | 36 | 消耗品費 |
| | 3 | 燃料費 |
| | 1,771 | 光熱水費 |
| | 180 | 修繕料 |
| 61 | 61 | 役務費 |
| 3,181 | 3,181 | 委託料 |
| 289 | 289 | 使用料及び賃借料 |
| 22 | 22 | 原材料費 |
| 5,543 | 5,543 | 合計 |

| | | |
|--------------------|--------------|------|
| 歳出科目 (P 308～P 309) | 10 款 4 項 1 目 | 幼稚園費 |
|--------------------|--------------|------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|----------|-------|-------|-----|
| 幼稚園管理事務費 | 4,008 | 3,838 | 170 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|-------|-------|----------|-------|
| 国庫支出金 | 44 | 報酬 | 1,825 |
| 一般財源 | 3,964 | 需用費 | 142 |
| | | 共済費 | 377 |
| | | 役務費 | 270 |
| | | 旅費 | 270 |
| | | 使用料及び賃借料 | 713 |

【目的】

高田幼稚園の運営に必要な消耗品や事務用機器、物品等を整備し、幼稚園教育を円滑に実施する。

【実施内容】

(経費の内訳)

| 項目 | 金額 | 内容 | |
|------------|-------|---------------------------------|------------|
| 報酬 | 1,825 | 養護助教諭報酬 | |
| 職員手当等 | 381 | 養護助教諭期末手当 | |
| 共済費 | 377 | 養護助教諭共済組合負担金、雇用保険料ほか | |
| 旅費 | 270 | 養護助教諭通勤費、全国国公立幼稚園長会総会研究大会出席旅費ほか | |
| 消耗品費 | 142 | 幼稚園管理用・事務用消耗品 | |
| 役務費 | 通信運搬費 | 208 | 電話料、郵便料 |
| | 手数料 | 62 | ピアノ調律手数料ほか |
| 使用料及び賃借料 | 713 | 事務用機器等借上料、遠足バス借上料ほか | |
| 負担金補助及び交付金 | 30 | 新潟県国公立幼稚園・こども園協会負担金ほか | |
| 合計 | 4,008 | | |

| | |
|-----|-------|
| 提出課 | 社会教育課 |
|-----|-------|

| | | |
|--------------------|--------------|---------|
| 歳出科目 (P 308～P 311) | 10 款 5 項 1 目 | 社会教育総務費 |
|--------------------|--------------|---------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|----------------|--------|--------|-------|
| 青少年健全育成センター運営費 | 19,560 | 17,317 | 2,243 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|------|--------|------------|-------|
| 一般財源 | 19,560 | 報酬 | 6,876 |
| | | 職員手当等 | 1,037 |
| | | 共済費 | 1,083 |
| | | 旅費 | 322 |
| | | 負担金補助及び交付金 | 9,480 |

○青少年育成支援事業 10,082

【目的】

青少年問題の解決に向けて関係機関と連携を密にするとともに、街頭指導活動や環境浄化活動及び若者育成支援活動を通じて青少年の非行防止と健全育成を図る。

【4年度目標】

- ・街頭指導を効率的に実施するとともに、青少年の現状を理解するための研修を行い、青少年健全育成委員の資質向上を図る。
- ・困難を抱える若者の自立を支援するため、若者の居場所（F i t）を中核とした活動を推進する。

【実施内容】

- ・毎月実施している街頭指導や青色回転灯積載車（青パト）による巡回指導に加え、上越市防犯の日に合わせて、警察関係者や高等学校と協力して年2回の特別街頭指導を行う。
- ・有害図書類、有害玩具類販売店やゲーム場の実態調査及び立入調査を実施する。
- ・関係機関と協力して若者の居場所（F i t）を中核とする相談・支援活動を充実する。
- ・上越市親の会や若者育成支援進路研修会、若者支援者研修など、支援のネットワークづくりを重視した活動を展開する。

○地域青少年育成会議活動支援 9,478

【目的】

青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るため、「地域青少年育成会議」の活動を支援する。

【4年度目標】

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を始めとする育成会議関係者に対し、地域と学校の連携・協働に対する研修等の機会を設ける。

【実施内容】

- ・地域青少年育成会議協議会への交付金の交付及び各地域青少年育成会議の活動に対する実務指導を通じて、地域ごとの活動を支援する。
- ・地域青少年育成会議への市民の関心の向上と活動に関する理解を深めてもらうため、広

報紙発行のほか、実践事例発表及び意見交換会を開催することで、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図る。

| | | |
|-----------------|--------------|---------|
| 歳出科目（P310～P311） | 10 款 5 項 1 目 | 社会教育総務費 |
|-----------------|--------------|---------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|---------------|-------|-------|-----|
| 二十歳を祝うつどい運営事業 | 6,526 | 5,745 | 781 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|------|-------|------|-------|
| 一般財源 | 6,526 | 旅費 | 29 |
| | | 需用費 | 1,489 |
| | | 役務費 | 114 |
| | | 委託料 | 4,894 |

【目的】

大人としての自覚と自立を促すとともに、生まれ育った上越市への思いを深め、豊かな人間性と社会性を培う契機とする。

【4年度目標】

- ・対象者が、恩師や旧友との再会を通して、自らが生まれ育った郷土への思いを深めるとともに、二十歳を迎えたことの自覚と自立を促す機会とする。
- ・出席率：68%（過去3回平均）

【実施内容】

| | |
|-----|---|
| 日時 | 令和4年4月2日（土）午後1時30分から |
| 会場 | リージョンプラザ上越インドアスタジアム |
| 対象者 | 約2,000人 （平成13年4月2日から平成14年4月1日までの間に生まれた人） |
| 内容 | 第1部「式典」（市主催） ・激励のことば（市長） ・お祝いのことば（市議会議長） ・代表スピーチ 第2部「記念行事」（二十歳を祝うつどい実行委員会主催） ・対象者6人で構成する実行委員会が企画・実施する。 |

<主な新型コロナウイルス感染症対策>

- ・朝の着付け等での3密回避のため、午後に開催する。
- ・会場内でのソーシャルディスタンスを確保する。
- ・受付を簡略化するとともに、式典時間を短縮するほか、入場者を制限する。（来賓、恩師、家族等は招待しない。）
- ・サーマルカメラ等による体温測定、手指消毒、不織布マスクの着用を徹底する。
- ・式の様子をYouTubeでライブ配信する。

<参考>

- ・民法の一部改正により令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられるが、上越市の成人式はこれまでどおり20歳の人を対象として実施する。
- ・式典の名称を上越市成人式から上越市二十歳を祝うつどいに変更する。

| | | |
|-----------------|---------|---------|
| 歳出科目（P310～P311） | 10款5項1目 | 社会教育総務費 |
|-----------------|---------|---------|

単位：千円

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 |
|------------|-------|-------|-----|
| 社会同和教育活動事業 | 4,969 | 3,991 | 978 |

| 主な財源 | | 主な経費 | |
|------|-------|------------|-------|
| 諸収入 | 6 | 報酬 | 220 |
| 一般財源 | 4,963 | 委託料 | 1,033 |
| | | 報償費 | 1,605 |
| | | 需用費 | 888 |
| | | 負担金補助及び交付金 | 851 |

○白山会館事業 1,663

【目的】

人権・同和教育の活動拠点である「白山会館」を核とした各種事業を実施し、事業参加者から人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深めてもらう。

【4年度目標】

- ・全ての市立小中学校（69校）が現地学習会を実施する。
- ・白山会館開館50周年記念事業を実施し、これまでの社会同和教育の取組を振り返るとともに、今後の活動につなげる契機とする。

【実施内容】

- ・白山会館運営委員会を開催する。
- ・白山会館開館50周年記念事業を実行委員会を組織して実施する。
- ・市内外の学校教職員や行政職員等を対象に、現地学習会を開催する。
- ・地区住民と関係者等との交流事業を実施する。
- ・市ホームページや現地学習会で人権啓発ビデオ・図書の紹介をするとともに、利用希望者への貸出しを行う。

○小中学生学習会 1,137

【目的】

学習会を通して、学力の向上や仲間づくりを図る。

【4年度目標】

学校及び地域の協力を得て、対象の児童・生徒が安心して学習できる環境を整備する。

【実施内容】

- ・白山会館を会場に、地区及び地区出身の小中学生を対象とした学習会を開催する。
- ・対象の児童・生徒の見込み人数と開催曜日
小学生：4人 毎週水・金曜日
中学生：2人 毎週火・木曜日

○白山会館管理運営 1,816

【目的】

人権・同和教育の活動拠点である白山会館を適切に管理運営する。